

安全データシート

作成日：2020 年 11 月 19 日

改定日：2026 年 8 月 10 日

1. 化学品及び会社情報	
製品名	トリエタノールアミン 90%(Triethanolamine LFG90)
供給者の会社名称	アーク株式会社
住所	大阪市中央区安土町 3-5-13
電話番号	06-6563-7710
FAX 番号	06-6563-7720
緊急連絡電話番号	06-6563-7710（受付時間：平日 9:00～17:30）
推奨用途及び使用上の制限	合成洗剤、乳化剤、靴墨、つや出し、ワックス、農薬等、有機合成、切削油、潤滑油との添加剤、 防虫添加剤、繊維の柔軟剤原料、ガス精製、有機溶剤、pH 調整剤、中和剤
2. 危険有害性の要約	
GHS 分類	JIS Z 7252：2025 及び JIS Z 7253：2025（GHS に基づく化学品の分類方法及びラベル・SDS の作成方法、GHS 第 9 版準拠）に基づき分類
物理化学的危険性	該当区分なし
健康に対する有害性	
皮膚腐食性／刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	区分 2A
皮膚感作性	区分 1
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分 3（気道刺激性）
環境に対する有害性	該当区分なし
GHS ラベル要素	
絵表示又はシンボル	
注意喚起語	警告
危険有害性情報	H315：皮膚刺激 H319：強い眼刺激 H317：アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ H335：呼吸器への刺激のおそれ

注意書き	
[安全対策]	P261：ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。 P271：屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 P272：汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 P264：取扱い後は手や顔をよく洗うこと。 P280：保護手袋、保護眼鏡を着用すること。
[応急措置]	P302+P352：皮膚に付着した場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと。多量の水と石鹼で洗うこと。 P333+P313：皮膚刺激又は発疹が生じた場合：医師の診断、手当てを受けること。 P362+P364：汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 P304+P340：吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 P312：気分が悪い時は、医師に連絡すること。 P305+P351+P338：眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 P337+P313：眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
[保管]	P403+P233：容器を密閉して換気の良いところで保管すること。 P405：施錠して保管すること。
[廃棄]	P501：内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。
3. 組成、成分情報	
化学物質／混合物の区別	化学物質
化学名又は一般名	トリエタノールアミン
濃度又は濃度範囲	トリエタノールアミン 90% 水 10%
CAS 番号	102-71-6
別名	2,2',2''-Nitrilotriethanol、TEA、Tris(2-hydroxyethyl)amine
化学式	C ₆ H ₁₅ NO ₃
官報公示整理番号（化審法）	(2)-308
官報公示整理番号（安衛法）	公表化学物質
4. 応急措置	
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けるこ

	と。
目に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易にはずせる場合は外して洗うこと。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。口をすすぐこと。
応急措置をする者の保護	救助者はゴム手袋、密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。
5. 火災時の措置	
消火剤	粉末、泡、大量の水、二酸化炭素
火災時の特定危険有害性	燃焼や高温により分解し、有毒なヒュームを発生するおそれがあるので注意する。
特有の消火方法	消火作業は、風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いる。 関係者以外は安全な場所に退去させる。 周辺火災時、移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、必ず保護具を着用する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	個人用保護具を着用する。 漏出場所の風上から作業し、風下の人を退避させる。 十分に換気を行う。 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。
環境に対する注意事項	製品が排水路に排出されないよう注意する。
封じ込め及び浄化の方法・機材	ウエス、乾燥砂、土、おがくずなどに吸収させて回収する。 大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。 付着物、回収物などは、関係法規に基づき速やかに処分する。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策	取扱いは換気のよい場所で行う。 適切な保護具を着用する。 漏れ、あふれ、飛散しないよう注意し、みだりに蒸気を発生させない。 取扱い後は手や顔などをよく洗う。
注意事項	できれば、密閉系で取扱う。 蒸気やエアゾールが発生する場合には、換気、局所排気を用いる。
安全取扱い注意事項	皮膚、眼および衣類との接触を避ける。
保管	
適切な保管条件	容器を密栓して換気の良い冷暗所に保管する。 不活性ガスを充填する。

	湿気を避ける。 施錠して保管する。 酸化剤などの混触危険物質から離して保管する。
避けるべき保管条件	光、湿気、空気
安全な容器包装材料	法令の定めるところに従う。
8. ばく露防止及び保護措置	
設備対策	密閉化した設備又は局所排気装置を設ける。 取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄用の設備を設ける。
管理濃度	設定されていない。
濃度基準値（安衛則第 577 条の 2 第 2 項）	8 時間濃度基準値：1 mg/m ³ 短時間濃度基準値：設定なし（令和 7 年 10 月 1 日適用）
許容濃度	
日本産業衛生学会	設定されていない（2025 年版）
ACGIH TLV(TWA)	5 mg/m ³
保護具	
呼吸器の保護具	防毒マスク、自給式呼吸器、送気マスク等。
手の保護具	不浸透性の手袋。
目の保護具	保護眼鏡（ゴーグル型）。状況に応じ保護面。
皮膚及び身体の保護具	不浸透性の保護衣。状況に応じ、保護長靴。
9. 物理的及び化学的性質	
物理的状態（20℃）	液体
形状	透明
色	無色 ～ わずかにうすい黄色
臭い	僅かなアンモニア臭
pH	11（100g/L H ₂ O soln. 20° C）
融点	データなし
沸点/沸騰範囲	データなし
引火点	データなし
燃焼又は爆発範囲	
下限	データなし
上限	データなし
蒸気圧	1.3Pa/20° C

蒸気密度	5.1
比重	1.12
溶解度	
〔水〕	混和
〔その他の溶剤〕 混和	アルコール、アセトン
可溶	ベンゼン、クロロホルム
微溶	エーテル、石油エーテル
難溶	四塩化炭素
不溶	ヘプタン
オクタノール/水分配係数	-1.59
自然発火温度	データなし
10. 安定性及び反応性	
反応性	情報なし
化学的安定性	適切な条件下においては安定。
危険有害反応可能性	特別な反応性は報告されていない。
混触危険物質	酸化剤、酸
危険有害な分解生成物	二酸化炭素、一酸化炭素、窒素酸化物
11. 有害性情報	
急性毒性	ipr-mus LD50 : 1450mg/kg orl-mus LD50 : 5846mg/kg orl-rat LD50 : 4920uL/kg skn-rbt LD50 : >20mL/kg
皮膚腐食性／刺激性	skn-hmn 15mg/3D-I MLD skn-rbt 560mg/24H MLD
眼に対する重篤な損傷／刺激性	eye-rbt 10mg MLD
生殖細胞変異原性	cyt-hmn-lym 100umol/L cyt-rat-skn 0.5ppb sce-hmn-lym 1mmol/L
発がん性	skn-rat TDLo : 90125mg/kg/103W-I IARC=3（人に対して発癌性があると分類できない化学品） NTP=情報なし
生殖毒性	情報なし
RTECS 番号	KL9275000

12. 環境影響情報	
生態毒性	
魚類	48h LC50：>1000ppm（Oryzias latipes）
甲殻類	情報なし
藻類	情報なし
残留性/分解性	0%（by BOD）、1.3%（by TOC）、4.2%（by GC）
生体蓄積性（BCF）	<0.4（conc. 2.5ppm）、<3.9（conc. 0.25ppm） * 既存化学物質安全性点検による判定結果：低濃縮性
土壤中の移動性	
オクタノール/水分配係数	-1.59
土壌吸着係数（Koc）	7
ヘンリー定数（Pa・m ³ /mol）	7.2×10 ⁻⁸
オゾン層への有害性	情報なし
13. 廃棄上の注意	
廃棄上の注意	適切な保護具を着用する。 地方条例や国内規制に従う。 焼却処理する場合には、アフターバーナー及びスクラバーを備えた焼却炉で焼却する。 空容器を処分する時は、内容物を完全に除去した後に行う。 処理施設がないなどの理由で廃棄できない場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。
14. 輸送上の注意	
国連分類	国連の分類基準に該当せず。
国連番号	該当なし。
輸送の特定の安全対策及び条件	運搬に際しては容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、 荷崩れの防止を確実にし、法令の定めるところに従う。
15. 適用法令	
労働安全衛生法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物（法第 57 条・第 57 条の 2、安衛則第 30 条・第 34 条の 2 別表第 2 の 1335）及びリスクアセスメント対象物に該当 （表示：製剤中の含有量が重量 1%未満のものを除く、通知：重量 0.1%未満のものを除く） 濃度基準値（安衛則第 577 条の 2 第 2 項）：8 時間濃度基準値 1 mg/m³（短時間濃度基準値は設定なし。詳細は第 8 項参照）

	皮膚吸収性有害物質（安衛則第 594 条の 2 第 1 項）：非該当
化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）	優先評価化学物質（通し番号 108、官報公示整理番号(2)-308）
消防法	危険物第 4 類 第三石油類（水溶性液体）、危険等級Ⅲ、指定数量 4,000L
毒物及び劇物取締法	非該当
化学物質排出把握管理促進法（化管法・PRTR 法）	非該当（第一種・第二種指定化学物質のいずれにも該当しない）
化学兵器の禁止及び特定物質の規制等に関する法律	第二種指定物質（原料物質）
16. その他の情報	
準拠規格	JIS Z 7252：2025 及び JIS Z 7253：2025（GHS に基づく化学品の分類方法及びラベル・SDS の作成方法、GHS 第 9 版準拠）
作成日	2020 年 11 月 19 日
改定日	2026 年 8 月 10 日
免責事項	本安全データシート（SDS）に記載した内容は、現時点で入手可能な資料及び情報に基づいて作成したものであり、記載内容の完全性及び正確性を保証するものではありません。また、本 SDS は今後、新たな知見や法令改正等により、予告なく内容を変更することがあります。 お取引先各位におかれましては、本 SDS の情報を、当該製品を安全に取扱うための参考情報としてご利用いただき、実際の取扱いにあたっては、自らの用途・使用条件・作業環境等に応じて必要な安全対策を講じるとともに、関連法令を遵守していただきますようお願いいたします。 本 SDS は製品の品質を保証するものではなく、本 SDS の記載内容に関連して生じた損害について、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。